

竹の内地区産業廃棄物最終処分場の発生ガス等調査及び下流地下水・放流水調査の結果（平成29年3月）

調査年月日：平成29年3月7日（気圧：995hPa）

調査項目	浸透水観測井戸																	
	7-2	7-4	H16-10	H16-11	No.3	No.3a	No.3b	No.5	No.5a	No.5b	H16-3	H16-5	H16-6	H16-13	H17-15	H26-3a	H26-3b	
水位 (m)	-2.84	-2.91	-2.91	-3.37	-	-	-1.97	-	-	-3.53	-3.47	-2.54	-18.33	-2.86	-3.16	-1.63	-1.68	
孔内温度(管頭下1m) (°C)	7.4	6.4	5.9	7.5	6.3	6.1	7.5	10.4	7.8	11.3	6.9	5.5	7.1	6.9	7.4	5.0	5.3	
気温 (°C)	4.9	6.0	4.9	5.8	4.8	4.8	4.8	5.0	5.0	5.0	5.7	4.8	6.6	6.1	4.8	4.8	4.8	
水質	水温 (°C)	17.0	14.4	18.4	16.4	-	-	17.2	-	-	18.9	18.5	14.0	14.9	18.5	16.6	10.9	12.2
	透視度 (cm)	50以上	50以上	50以上	50以上	-	-	50以上	-	-	50以上	44	22	50以上	25	50以上	48	34
	pH	7.0	7.2	7.7	7.2	-	-	7.7	-	-	7.2	7.3	7.5	8.0	7.2	7.5	7.3	7.3
	硫酸イオン (mg/l)	0.1未満	0.1未満	0.5	0.4	-	-	0.1未満	-	-	51	0.1未満	75	5.9	0.1未満	0.1未満	62	3.5
	塩化物イオン (mg/l)	13	52	97	110	-	-	45	-	-	35	73	170	130	760	66	14	36
	電気伝導率 (mS/m)	140	66	120	220	-	-	60	-	-	170	170	150	70	600	62	63	98
酸化還元電位 (mV)	140	94	39	120	-	-	48	-	-	85	78	7	5	95	48	160	160	
発生ガス	硫化水素 (ppm)	0.2未満	2.0	0.2未満	0.2未満	1.5	0.2未満	0.2未満	0.2	0.2未満	0.2未満	0.2未満	30	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	
	二酸化炭素 (%)	6.0	3.0	0.5	3.0	1.5	0.25未満	0.25未満	9.0	2.6	2.2	1.8	1.6	0.25未満	0.25未満	0.5	0.25未満	
	酸素 (%)	12	6未満	14	6未満	6未満	20	16	6未満	15	16	14	12	6未満	8	18	20	21
	メタン (%)	11	64	50	68	100	0	12	2	8	0	43	70	49	61	12	1	1
	発生ガス量 (L/min)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.17	0.01未満	0.52	0.61	0.01未満	0.01未満	0.03						

調査項目	下流地下水観測井戸								放流水
	Loc.1	Loc.1a	Loc.1b	H16-1b	H16-15	H26-1a	H26-1b	H26-2	
水位 (m)	-0.49	-0.44	-0.27	-0.83	-0.91	-1.08	-1.03	-0.88	-
水温 (°C)	9.3	9.4	9.5	9.5	10.3	9.6	8.8	9.6	6.5
透視度 (cm)	50以上	50以上	12	50以上	24	50以上	31	7	50以上
pH	7.3	7.2	7.0	6.6	6.7	7.5	7.4	6.6	7.9
硫酸イオン (mg/l)	34	0.2	0.1未満	0.3	0.4	9.4	28	12	4.9
塩化物イオン (mg/l)	190	140	140	15	15	12	150	93	120
電気伝導率 (mS/m)	77	74	72	51	46	69	43	56	170
酸化還元電位 (mV)	190	200	210	170	210	140	110	160	190

※ 表中の硫化水素等の発生ガスの濃度は、ボーリング孔の管頭下1mでの値で
 ※ 地点名7-2、7-4、H16-10、H16-11はガス抜き管です。ガス抜き管では、発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しています。処理後の硫化水素濃度は、いずれも0.2ppm未満でした。

※ 平成23年度より、処分場地下水及び放流水の水質の変動状況を把握するため、処分場下流側の地下水(Loc.1a、Loc.1b)と放流水を毎月測定しています
 ※ 地点名No.3a、No.3b、No.5a、No.5bは、平成26年度の噴出防止工で設置されたガス抜き管です。
 発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しており、処理後の硫化水素濃度はいずれも0.2ppm未満でした。

